



刈谷ハイウェイオアシス

刈谷市都市交通戦略

～“ひと”と“環境”にやさしく、持続可能な都市交通体系の構築を目指して～

平成 24 年～平成 42 年



刈谷駅北口駅前広場

目次

| | |
|--------|---|
| 序 はじめに | 1 |
|--------|---|

| | |
|-----------------|---|
| 第1章 都市交通戦略の位置づけ | 2 |
|-----------------|---|

—上位計画・関連計画との関係や都市交通戦略策定のねらい—

| | |
|-------------------------|---|
| 1. 第7次刈谷市総合計画の概要 | 3 |
| 2. 第3次刈谷市都市計画マスタープランの概要 | 4 |
| 3. 刈谷市環境都市アクションプランの概要 | 5 |
| 4. 衣浦定住自立圏共生ビジョンの概要 | 7 |

| | |
|----------------|---|
| 第2章 都市交通の現状と課題 | 9 |
|----------------|---|

—刈谷市の都市特性や交通実態に対する課題の整理—

| | |
|----------------------|----|
| 1. 社会経済の見通し | 9 |
| 2. 刈谷市における都市交通の現状と課題 | 11 |

| | |
|--------------|----|
| 第3章 都市交通ビジョン | 33 |
|--------------|----|

—都市交通の目標像、基本方針、基本施策の整理—

| | |
|-----------------|----|
| 1. 刈谷市の都市交通ビジョン | 33 |
| 2. 都市交通の基本施策 | 34 |

| | |
|---------------|----|
| 第4章 都市交通戦略の策定 | 49 |
|---------------|----|

—今後実施すべき具体的な施策の整理—

| | |
|-----------------|----|
| 1. 都市交通戦略の具体的展開 | 49 |
| 2. 施策パッケージ | 50 |
| 3. 具体的施策の検討 | 51 |
| 4. 施策実施効果の検証 | 76 |

| | |
|------------|----|
| 第5章 施策推進計画 | 92 |
|------------|----|

—各施策の実施スケジュール、実施主体の整理—

| | |
|--------------|----|
| 1. 施策の進め方 | 92 |
| 2. 計画の実現に向けて | 94 |

| | |
|------|----|
| 用語解説 | 96 |
|------|----|

序 はじめに

高齢化の進展と人口減少、経済活動の沈静化、地球規模の環境問題の顕在化、大規模自然災害の発生、情報技術の発達など我が国を取り巻く環境は、近年大きく変化しつつあります。特に高齢化の進展と人口減少は、経済情勢のひっ迫と相まって社会資本整備のあり方に大きな変革をもたらすこととなります。とりわけ、都市交通については、地域活力の維持・向上とともに、東日本大震災を教訓とする防災・減災対策の推進、地球規模の環境問題への対応に向けた低炭素化の推進、高齢者など交通弱者が安心かつ安全に移動できる移動環境の確保など、多岐に渡る検討課題が顕在化しています。

また、本市中心部には、大規模事業所が多数立地していることから、朝夕の通勤時には、主要幹線道路や刈谷駅周辺の道路において激しい渋滞が発生しており、生活道路への迂回交通の進入や、中心市街地へのアクセス利便性の低下などの問題が発生しています。これらの問題については、自動車交通への対応のみならず、鉄道、バスさらには自転車など多様な交通手段を含む総合的な観点からその解決策を探る必要があります。また、中心市街地の活性化や交通需要の管理など、まちづくりや企業と連携した交通施策の展開も重要となります。

「刈谷市都市交通戦略」は、上記の課題の解決を念頭に第7次刈谷市総合計画の将来都市像である「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現に向け、総合交通体系の視点から、本市が目指すべき都市交通のビジョンを明確にするとともに、その具現化に向け、どのようなアプローチを行うかを整理したものです。